

第 5 学 年 体 育 科 学 習 指 導 案

5 年 1 組 指 導 者 紀 村 修 一

単 元 いいね、仲間って（体ほぐしの運動）

1 本単元でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○チームの力を発揮するための作戦を考えながら、繰り返し運動に取り組んでいる。	○自己の力を発揮するための作戦を選び、よりよい動きをめざして運動に取り組んでいる。	○自他の心と体の違いに気付き、多様な他者を受け入れようとしている。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、マット運動において、自己の課題を見出し、仲間と共に課題の解決策を話し合ったり、できるようになりたい技に繰り返し挑戦したりした。このような子どもたちが、学級やチームの成長をめざして、仲間と共に体ほぐしの運動に取り組む。このことは、多様な他者と共に運動する価値（共生の視点）を理解したり、楽しさや喜びを味わったりすることにつながるであろう。

本単元は、手軽な運動に楽しく取り組み、心と体の関係に気付いたり、仲間と豊かに関わったりする学習である。子どもたちは、これまでの学習経験を生かしながら、いろいろな体ほぐしの運動に取り組むであろう。ただし、この時期の子どもは、異性との関わり方を意識したり、運動意欲や運動能力に個人差が生じたりするため、全員に共通の動きを求めることは難しい。そこで、自他の心と体の違いに気付いたり、仲間のよさを認め合いながら豊かに関わったりすることができるようにしたい。そうすることで、多様な他者と共に運動することの価値に気付き、より一層仲間と共に運動することが楽しくなると考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- いろいろな体ほぐしの運動を紹介し、学級やチームの成長をめざして取り組むように促す。そうすることで、チームの力を発揮するための作戦を考えながら、繰り返し運動に取り組むことができるようにする。【対】
- 自他の心と体の違いを踏まえた作戦を考えている子どもを価値付けたり紹介したりする。そうすることで、自他の心と体の違いに気付き、多様な他者を受け入れようとするようにする。【他】
- 気に入った作戦とそのよさについて交流する時間を設定する。そうすることで、多様な作戦に気付き、自己の力を発揮するための作戦を選ぶことができるようにする。【自】

3 本単元の目標

- いろいろな体ほぐしの運動に楽しく取り組むことをとおして、自他の心と体の違いに気付いたり、仲間のよさを認め合いながら豊かに関わったりすることができるようにする。
- 多様な他者と共に体ほぐしの運動に取り組む価値を理解したり、楽しさや喜びを味わったりすることができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に取り組む態度（態）
○体ほぐしの運動の行い方を理解し、自他の心と体の違いに気付いたり、仲間と豊かに関わったりしている。	○自他の心と体の状態に応じて運動の課題や行い方を選んだり、自己やチームで考えた作戦を他者に伝えたりしている。	○体ほぐしの運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている。


5 指導計画（全3時間）

いろいろな体ほぐしの運動に取り組む【本時2／3】

6 本時案 【令和元年6月11日 10:25~11:10 体育館】

(1) ねらい 「タイミングジャンプリレー」に楽しく取り組むことをとおして、自他の心と体の違いに気付いたり、仲間のよさを認め合いながら豊かに関わり合ったりすることができるようにする。

(2) 学習過程※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識 [A、Bは☆と同じグループの子ども]

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 準備運動をし、学習のめあてを確認する。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心 <p>2 「タイミングジャンプリレー」に取り組む。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の心と体の違い ・仲間との関わり ・自己やチームの特徴に応じた作戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・「パブリカタイム」が始まったよ。 ・みんなで運動して、心ドキドキ、顔ポカポカ、汗タラタラ、気持ちスッキリだね。 ・今日はどんなゲームをするのかな。 ・「タイミングジャンプリレー」をするのだから。どんなルールなのだろう。 ☆仲間が滑らせたフープの中にタイミングよくジャンプして入るのか。楽しそうだね。 A タイミングを合わせるのが難しそうだな。 ☆1回目は、この前にやった「ダブルコーンリレー」よりも記録が遅かったよ。 ・チームの記録をよくしたいな。【対】 	<p>○各チームの記録を合計し、学級全体の記録として提示することで、他のチームとも協力しながら記録をよくするための作戦を考えることができるようにする。【対】</p> <p>○自他の心と体の違いを踏まえた作戦を考えている子どもを価値付けたり紹介したりすることで、自他の心と体の違いに気付くことができるようにする。【他】</p>
<p>どうすれば、タイミングよくジャンプすることができるかな。</p>		
<p>B フープを滑らすときに、「せーの」って掛け声を出したらどうかな。</p> <p>☆それいいね。やってみよう。</p> <p><u>B A君がフープを踏んでしまったよ。ジャンプが苦手なA君のために、もう少し速くフープを滑らせてみよう。【他】</u></p> <p>A やったあ。Bさんのおかげで上手く跳べたよ。Bさん、ありがとう。</p>		
<p>気に入った作戦は何ですか？どんなよさがありますか？ </p>		
<p>3 学習を振り返る。(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の成長と変容 	<p>B Xチームは、跳ぶのが得意な人を4番目にしているね。</p> <p>☆<u>Bさんは跳ぶのが得意だから4番目になってよ。【自】</u></p> <p>B よし、試してみよう。</p> <p>☆記録がよくなったよ。うれしいな。</p> <p>A はじめは難しそうだったけど、仲間と考えた作戦が上手く行って楽しかったよ。</p> <p>☆次の時間も、みんなと一緒に楽しみたいな。</p>	<p>○気に入った作戦とそのよさについて交流する時間を設定することで、多様な作戦に気付く、自己の力を発揮するための作戦を選ぶことができるようにする。【自】</p>

(3) 板書計画

6/11 いいね、仲間って 5-1のタイム

「タイミングジャンプリレー」を楽しもう! (1回目) 15分56秒

チーム

<ul style="list-style-type: none"> ・跳ぶのが得意 ⇔ 苦手 ・足が速い ⇔ 遅い ・背が高い ⇔ 低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「せーの」のかけ声 (2回目) ・応援 15分38秒 ・フープの速さ ・走順
--	---